

日本共産党
すみだ区議団ニュース
 第509号
 発行 日本共産党墨田区議会議員団
 発行責任者：高柳東彦 / 編集責任者：としま剛
 発行所 墨田区吾妻橋1-23-20 ☎直通5608-6326
 墨田区役所16階 日本共産党区議会控室

新型コロナウイルス収束に向けて PCR検査の抜本的拡充、保健所の 体制強化でケアに手厚い社会を

日本共産党 山下ひろみ区議が代表質問



代表質問を行う山下ひろみ区議(9月9日、区議会本会議場)

墨田区議会定例会9月議会は、9月9日から30日までの日程で開かれました。9日には、山下ひろみ区議が代表質問にたち、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止策」「区民の営業とくらしを守る施策」「新型コロナウイルス収束後の社会の在り方」などについて提案し、山本区長と加藤教育長の見解を質しました。

保健所の体制強化を

山下 新型コロナウイルス感染症に関する保健所の業務は多岐にわたり、長時間過密労働のもと、保健所職員には、身体的にも精神的にも大きな負担がかかっている。今すぐ、必要な人員を確保し、抜本的な体制強化を。

区長 状況に応じて必要な対応を図るとともに、適切な定数管理のもと、必要な人員を配置していく。

向島保健センターの廃止・統合はやめ、存続を

山下 保健所の役割・位置づけを再検討し、(新)保健施設の整備による(向島)保健センターの統廃合は見直すべき。

区長 一カ所に集約することで保健所の役割を最大限発揮できる。

家賃助成など、現金給付型施策の実現を

山下 区民や中小業者の実情に合わせた現金給付型施策を行うべき。国と都の給付対象にならない、小規模事業者、個人事業主に対して、区独自にでも店舗や事業所の

区長 現金給付型施策は、国や広域行政を担う都が一律に実施すべきと考える。

国保・傷病手当金の対象者拡充を

山下 ①コロナ感染により、仕事ができなくなった方に、国民健康保険の傷病手当金が支給できるようになったが、自営業者やフリーランスの方が対象から外されている。傷病手当金の対象者を拡充するよう求める。

区長 ①傷病手当金の支給対象者の拡充などは、全国市長会を通じて、国へ要望している。②毎月決まった額が支給されているものではないため、工賃の減少分を直接、補助することは困難と考える。③委託業務の考え方として、仕様の範囲内で履行した分に対して、委託料を支払うこととしているため、就業の縮小・休止期間中の補償は、難しいと考える。

20人程度の少人数学級の早期実現を

山下 コロナ危機の下、子どもたちの学びやケア、安全を保障するため、少人数学級を国に働きかけるとともに、教職員や教室の確保などの環境整備を図ることを求める。

教育長 特別区教育長会から都教育委員会に対し、法改正を国に求めるよう要望している。

山下区議が代表質問で、PCR検査などの抜本的拡充を要求

高齢者施設等の利用者全員の検査へ



山本区長に要請する日本共産党区議団

等への定期的な検査と、必要に応じて施設利用者全員を対象にした検査を行うこと」を要請しました(写真)。

山下区議は、代表質問で「区が8月26日に新たなPCRセンターを開設した」ことを評価したうえで、「新型コロナウイルスを収束させていくためにも、感染者が減少傾向にある時期にこそ、検査の抜本的強化が必要」と指摘しました。

日本共産党墨田区議団は8月4日、山本区長に申し入れを行い、感染震源地(エピセンター)を明確にして、集中的に検査を行い、無症状者を含めた感染者を少しでも早く発見し、隔離・保護することによって、感染拡大を防止すること。医療機関や介護施設、保育園や学校などに勤務する職員

その後、区は都の補正予算も活用し、高齢者や障害者支援施設等の職員や利用者・約3千人にPCR検査を行うことを表明、地域を指定して集団検査を行うことも検討しています。

感染症に強い、よりよい社会を

山下 新型コロナウイルス収束後の社会の在り方について、今後、感染防止を徹底し、徐々に失われた日常を取り戻して行くことが必要。経済効率を最優先する政治から、人間のケア、雇用教育、食料、エネルギー、文化・芸術

など、人間が生きていくために必要不可欠なものを最優先する政治に切り替え、自己責任の押し付けではなく、人々が支えあう社会、連帯を大切にすることが求められる。

区長 国や都の動向を注視する。



▼中国東北部で、捕虜たちをパストなどの細菌に感染させたり、凍傷にさせたりして、細菌兵器や軍事作戦の研究―戦時中、通称731部隊と言われた日本軍の研究機関が、残酷な人体実験を行っていたそうです▼731部隊には、軍人だけでなく、東大や京大などから集められた、「エリート医学者」とされた人たちが多くいたと言われています。なぜ、医学者たちがこのような非人道的なことをしてしまっただか。この人たちの多くは、人の命を救いたいという気持ちで医学を志したのではないのでしょうか。ところが、学術界が軍と関係を深める中で、軍に逆らえば医学の研究の道が閉ざされる恐れから、恐怖の実験に加担していったとされています▼そしてまた、学問の自由が脅かされようとしています。

菅義偉首相が、日本学術会議に推薦された6人の候補の任命を拒否した問題です。日本学術会議は、戦時下に学問が厳しく統制、弾圧され、学者が戦争に動員された反省を踏まえて、戦後、政治からの高い独立性を持つ組織として発足したものです▼今回の任命拒否は、学術界への国家権力の介入です。戦前・戦中、侵略戦争遂行のために、政府によって学問の自由が侵された過ちを繰り返すことは断じて許せません。

あさの清美区議が 本会議で討論

9月区議会の最終本会議があった30日午後、各議案の採決にあたり、反対する条例案等について、あさの清美区議が意見を述べました。



反対討論を行う、あさの清美区議
(9月30日、区議会本会議場)

マイナンバーで利用できる特定個人情報範囲を広げる条例案について、あさの区議は「申請時に一回だけ必要となる証明書の添付が必要なくなるものだが、マイナンバーを活用すると、より厳格な管理が求められるため行政内部での効率化が図られるとは限らない」とまた「プライバシーに対する脅威も拡大される」と指摘しました。

また、マイナンバーカードが健康保険証として活用できるようになるので、マイナンバーの普及をはかるとして、啓発経費を計上した国民健康保険特別会計補正予算について「利用でき

る医療機関が限定され、ただちにマイナンバーカードが保険証に変わるとは困難」と指摘、また「カードを持ち歩くことによる紛失・盗難のリスクが高まる」と批判しました。

◆ 曳舟文化センターの管理運営に指定管理者制度を導入し、株式会社を指定する議案について「公の施設は直営が原則であり指定管理者を導入できるのは、経費削減などの自治体の都合」だけでなく、施設の設置目的を効果的に達成できる場合に限り」と指摘し、指定管理者制度を積極的に活用する姿勢を改めるよう求めました。

たちばなデイサービスは 利用者の声を聞いて存続を

区民福祉委員会が9月23日に開かれ、たちばなデイサービスの「廃止に伴う調整状況」について、報告がありました。



たちばなデイサービス(墨田区立花3丁目)

報告では、利用者への説明会の状況を説明しましたが、利用者や家族の声などは紹介されませんでした。また、121人の利用者のうち、40人ほどがほかの施設の利用を開始したとのことでした。

声を紹介し、廃止を取りやめるように求めました。担当課長は、「施設が変わることにより、利用者には混乱を招いてしまったら申し訳ない」と言いつつも「認知症を受け入れるデイサービスに余裕はないが、数字上は吸収できる」「丁寧に説明する」などと、来年3月末の廃止を強行する姿勢に終始しました。

風水害対策で、来年2月から利用可能な小学校体育館のエアコン、緊急時には2月前でも利用可能に

災害対策特別委員会できしあ剛区議が要求

が10月5日、共産党はらつとむ委員長のもと開かれ、台風の上陸等に伴う住民避難に係る区の対応方針などについて質疑が行われました。



委員会で発言する、としあ剛区議

としあ剛区議は「風水害時には避難所にもなる小学校の体育館で、既に設置されて

いるエアコンが契約上利用可能になるのは来年2月となっている。緊急時には2月前でも利用可能にすべき」と要求。担当課長は「利用できるようにメーカーと交渉する」と答えました。

また、としあ剛区議は「風雨の中、防災無線では区民に必要な情報を伝えられない。メール、ホームページ等の情報発信と併せ、それらの機器を使えない区民には防災ラジオを配付すべき」と主張しました。

墨田区議会定例会9月議会で議決された主な議案等と各党の態度

	共産	自民	公明	立憲墨	墨立憲	オン	新す	絆	無	結果
令和2年度墨田区一般会計補正予算	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和2年度墨田区国民健康保険特別会計補正予算	×	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
墨田区使用料その他収入金の督促及び滞納処分に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
墨田区行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例	×	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
墨田区国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
墨田区後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
墨田区介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
墨田区地域集会所の管理運営に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
墨田区保育所条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
墨田区子育てひろば条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
墨田区立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
庁舎リニューアルプランに基づくエレベーター更新工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
曳舟文化センター大規模改修工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
曳舟文化センターの指定管理者の指定について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
墨田区教育委員会委員任命の同意について	退席	○	○	×	○	○	○	○	○	同意
東京都後期高齢者医療広域連合議員補欠選挙における候補者の推薦について	○	○	○	○	○	×	○	×	○	可決
固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続に関する陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

※「立憲墨」は「立憲民主党墨田区議団」、「墨立憲」は「墨田区議会立憲民主党」、「オン」は「墨田オンブズマン」、「新す」は「新しいすみだ」、「絆」は「地域連合「すみだの絆」」、「無」は「無所属」の略



シリーズ

今年の冬は、インフルエンザと新型コロナウイルスの両方の流行にそなえて、病院、診療所は準備をしている。東京の保健所は、春以降ほとんどコロナのPCR検査のため、の相談を引き受けて、パニック状態になりマスコミでも大変批判を受け、発熱患者はたらい回しにされた。これを反省して国は熱のある人は、ま

すみだ共立診療所 吉沢先生にきく 今年の発熱外来について

で、患者にとっても助かるが、一般の開業医の先生方は難しいのが現状である。今年の春と違つのは、コロナの検査が、鼻かみ液(鼻水)でも可能になったので、検査は楽だが、鼻水が出ないと難しい検査になる。だから、コロナの唾液検査の一種類しかできない場合、インフルエンザの鼻水の検査ができなくなる場合もある。両方の検査をした場合は病院を探さなければならない。主治医と相談するようにしましょう。今年の冬は熱を出さないよう気を付けるのが大切だが、やむを得ないこともあります。インフルエンザの予防接種を受けることも大切。